

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 リールスメイト堂池

公表日 : 2025年 3月 10日

利用児童数 : 24名

回収数 : 15名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	4	1	1	人数にしては、狭い気がする。	置き場等を工夫し、安全で快適な支援環境確保に努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	3	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	5	1	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	2	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	3	6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	3	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	リールスメイト蛭池		公表日 2025年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	机などを端に寄せることでスペースの確保	机を都度うごかしてスペース確保をしますが運動活動をするには手狭です。収納ボックスをコンパクトにしてスペースの確保を図りたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	送迎時間の効率化を図っております。	送迎スタッフが少ないのでドライバーが欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	バリアフリー（スロープあり）トイレも車いすでもは入れる仕様となっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	わかりやすく物の位置が決められている。	空気清浄機はあるのですが窓がないので換気をしないとイケない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	本社研修や管理者による面談もあり周知されている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	スタッフがいつでも見れるようにされており緊急性が高いものは会議が設けられている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	1か月に1度の個別ミーティングの実施しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	社内になりますが内部監査制度を実施しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	本社による研修もありますが資格取得を積極的に支援してくれています。ネットによる研修も行っておりますので空き時間に受けることが出来ます。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HPにて公表されているのとデイ内でも見れる位置に置かれています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメント会議に時間をかけています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	計画会議にて意見の擦り合わせなど行っております。	スタッフ個人でのやり方もあるので完全一致かといえは違うと思われる。大筋では共有が図られている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	モニタリング終了時にすぐ会議を行うようにしています。	新規スタッフでも計画内容が共有されやすいように会議の時間を設ける必要があると思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントシートとは別に日誌や記録帳などを分けている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	前年度より計画書のフォーマットの改正し全内容を表記した上で作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	得意なスタッフが中心となり準備をしています。	チーム全体で動くことはできていないと思う。スタッフの中で得意な方が中心となって作成する形となっている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	同じ内容の活動でも変化を持たせています。	固定化が助かる児童さんもいますので一概に変えられないものもあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	前期より5領域に対応させた計画の説明を行い作成を行っております。	5領域化に伴いゆっくりとした支援を求められる児童さんにはしんどそうである。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	得意分野が各々ありますので適時支援を行ってまいります。	業務の固定化につながるので折を見て違う分野の業務にもあたってもらいたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	緊急性のお話がある際には当日に行い休日のスタッフにも共有を図ります。	終礼時間が取れない日もありますので後日報告・共有となってしまう日もあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	適時記録は取っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリング以外でも随時変更・更新の受付もしております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	療育時間を長く確保することで組み合わせた支援ができていますと思います。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	言葉が発せられない子には写真などを用います。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	代表者が参加させていただいております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	可能な限りの協力体制で行っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	4	ほとんどの学校では親御様から聞いてほしいといわれていますが学校さんにもお願いしてもらっています。	学校施設でルールが違いますので情報共有しづらい場面もあります。）
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	引継ぎの際には可能な限り情報の共有をさせていただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	担当者会議に参加し現在の支援状況等の資料をお渡しさせていただき、説明をさせていただいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	スタッフさんにはセンターさんの存在などを認知してもらっており研修がある事など伝えております。	直接会っての指示はあまりないので機会があれば直接ご指導を承りたいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	地域の公園やイベント参加はしております。	入社した人でもわかりやすい地域のイベントなどが掲示するようにしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	時間が合えば参加したいです。	協議会への参加をさせる為には人員が足りておらず、人員確保に努めたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	伝えあう時間、機会はしっかりと設けております。	発表する人が固定になりがちなので幅広い意見が聞けるよう改善したい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	親御様の質問には可能な限り、時間をかけて取り組むようにしております。	ご家族様参加型の研修の機会を設けることはしてないので今後できるかどうかを検討したい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧に説明をさせていただいております。開始から初めてのモニタリング時でも説明させていただいております。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	ミーティングや会議、でスタッフ間の共有とは別に計画作成時にご利用者様自身の意見も取り入れるようにしています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	出来ていると自負しております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	親御様の質問には可能な限り、時間をかけて取り組むようにしております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	基本的に見学や兄弟の活動のご参加は親御さんが同伴ならOKにしておりますのでそういった場面では交流があります。	保護者会に関しては1週間とおしてご多忙な方が多いので企画しても参加が望めない事情がありますが、模索していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	その日のうちに解決できることはその日のうちに解決するように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	毎月更新中です。	メインは対面時での交流ですがHPなども見てもらえるよう認知できればと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	契約時に写真の撮影の許可などの確認をしております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	基本的なツールから表情の確認、障がい特性も踏まえた上で取り行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	基本的に見学いつでもOKですので学校の方などの訪問はよくあります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に研修の実施、訓練を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に本社研修を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	アセスメントやリスト化された資料を掲示	掲示されていることを新しく入られた方は認知できないので改善予定です。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アセスメントやリスト化された資料を掲示	掲示されていることを新しく入られた方は認知できないので改善予定です。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	手定期的な安全計画書の更新、実施訓練を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時の説明の他緊急時の各ご家庭での対応方法の確認をしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	0	毎週1回ヒヤリハット会議の実施を行い再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修の実施、スタッフミーティングにて確認をしております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	現状該当者はいませんが研修や事例の紹介を伝えております。		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメイト池田		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い層の障がい児童の支援 ：当事業所では様々な障がい児童さんが集団での生活をしています。障がいの度合いによって利用をお断りすることなく受け入れをすることにしていて、各ご利用者様にも様々な特性の子がいることも知ってもらいたいと思っています。共生できる手段をスタッフも学び児童さんにも感じ取ってもらえればと思います。	総合的な支援ができることをしておりまして個別活動（学習・巧緻性の向上・生活課題）と集団活動（グループで活動を通して動く練習）をしております。 余暇時間の過ごし方も児童さんたちにアンケートを取り、デイ内にあるものがあるならお買い物練習を兼ねて買いに行き、お出かけをするなら児童さんと計画を立てて遊びに行くようにしています。	行っている取り組みは良いと思っていますのでこれらの幅を拡げていくように取り組んでいければと思っています。
2	利用日の多さ ：昨今の家庭環境に合わせられるように営業日を多くとっています。又、活動時間も多めにとっていますので共働きの世帯の方でも利用しやすいかと思っています。親御様にも生活にゆとりをもたらすことで家庭が円滑になると考えております。	急な時間変更にも対応できるようにしております。その際に児童さんに予定の変更を先に伝えております。 ご家族様の急なトラブルなどで時間変更が起こる際もそれ一つの経験としてとらえていますので児童さんがパニックになっても「そーいうこともある。」という気持ちで見せていただいております。	現行の制度ではこれが限界かなと捉えています。今後もし親御様のニーズやご意見があれば営業時間の変更なども検討したいと思っています。
3	同グループ施設との連携 ：近く同グループのショートステイがありますので連携して動くことが出来ます。日中はデイを利用して帰りはショートステイのお迎えが来てそこからショートステイで宿泊練習をすることなどもできます。	同グループ店舗さんとのやり取りや連絡などで利用日などの共有お互いに気になることがありましたらすぐ連絡にてやり取りできるようにしております。	遠いですが同グループの放課後等デイもありますので連携を図って活動の共有や交流などもできれば良いかなと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性や〇〇特化など ：個別型のような指針に沿った専門療育の仕方は苦手かなと思っています。（ないわけではないのですが、）専門職のスタッフも現在いませんのでより〇〇に特化した療育などは難しいかなと思っています。	現状で課題としてまでは認識はしていませんがご利用者さんやスタッフにつまずきがあった時に専門的な知識の持った方の意見が聞ければと思います。	専門職の方がいればそれはそれでよいのですがデイで勤めてもらう上で他の要素も必要と思いますので無理に配置することは予定しませんが親御様からの声が多くあがるようでしたら配置の方を検討したいと思います。
2	施設の手狭さ ：施設のバリアフリー化も行ったので療育ルームの狭さを感じます。	運動など室内で行う際は机をどけても難しいので集団で何か運動をするときや大きい子が走るにはやや難があります。仕方がないのですが単純に広さがありません。	改善点としては運動をしたい子は室内運動は避けて公園にて運動をさせることにしていくのですが外に出るリスクもありますので毎回という訳にはいかないことと天候にも左右されてしまうことですね・・・場所を取らない室内運動の構築などに努めたいです。
3	管理者やスタッフの異動 ：ある程度仕方のない事なのですが担当スタッフには長く続けてもらいたいと思われる親御様も多いのですがグループ展開をしている都合上グループ間での異動は多く、担当者の変更がある事です。	まず、急な異動がないように努めたいと思います。お世話になっているご家族様にもなるべく早く通知をしご理解を求めればと思っています。	スタッフさんや管理者さんの素質もあるのですがなるべく異動が少ないように働きかけたいと思います。また、異動とは別に辞職もありますのでデイとしては辞職者も少なくできるような環境づくりに努めたいと思います。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 リールスメイト虫池

公表日 : 2025年 3月 10日

利用児童数 : 1名

回収数 : 0名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	-	-	-	-	-	-
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	-	-	-	-	-	-
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	-	-	-	-	-	-
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	-	-	-	-	-	-
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	-	-	-	-	-	-
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	-	-	-	-	-	-
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	-	-	-	-	-	-	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	-	-	-	-	-	-
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	-	-	-	-	-	-
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	-	-	-	-	-	-
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	-	-	-	-	-	-
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	-	-	-	-	-	-
	29	事業所の支援に満足していますか。	-	-	-	-	-	-

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	リールスメイト虫池
------	-----------

公表日 2025年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	机などを端に寄せることでスペースの確保	机を都度うごかしてスペース確保をしますが運動活動をするには手狭です。収納ボックスをコンパクトにしてスペースの確保を図りたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	送迎時間の効率化を図っております。	送迎スタッフが少ないのでドライバーが欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	バリアフリー（スロープあり）トイレも車いすでもは入れる仕様となっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	わかりやすく物の位置が決められている。	空気清浄機はあるのですが窓がないので換気をしないといけない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	本社研修や管理者による面談もあり周知されている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	スタッフがいつでも見れるようにされており緊急性が高いものは会議が設けられている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	1か月に1度の個別ミーティングの実施しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	社内になりますが内部監査制度を実施しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	本社による研修もありますが資格取得を積極的に支援してくれています。ネットによる研修も行ってありますので空き時間に受けることができます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HPにて公表されているのとデイ内でも見れる位置に置かれています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	アセスメント会議に時間をかけています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	計画会議にて意見の擦り合わせなど行っております。	スタッフ個人でのやり方もあるので完全一致かといえば違うと思われる。大筋では共有が図られている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	モニタリング終了時にすぐ会議を行うようにしています。	新規スタッフでも計画内容が共有されやすいように会議の時間を設ける必要があると思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントシートとは別に日誌や記録帳などを分けている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	前年度より計画書のフォーマットの改正し全内容を表記した上で作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	得意なスタッフが中心となり準備をしています。	チーム全体で動くことはできていないと思う。スタッフの中で得意な方が中心となって作成する形となっている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	同じ内容の活動でも変化を持たせています。	固定化が助かる児童さんもいますので一概に変えられないのもあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	前期より5領域に対応させた計画の説明を行い作成を行っております。	5領域化に伴いゆっくりとした支援を求められる児童さんにはしんどそうである。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	得意分野が各々ありますので適時支援を行っていただいております。	業務の固定化につながるので折を見て違う分野の業務にもあたってほしい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	緊急性のお話がある際には当日に行い休日のスタッフにも共有を図ります。	終礼時間が取れない日もありますので後日報告・共有となってしまう日もあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	適時記録は取っております。他に気になる点があればノートに書きこんでおります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリング以外でも随時変更・更新の受付もしております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	代表者が参加させていただいております。(可能な限り2名参加)	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	緊急搬送が必要な子もいますので可能な限りの協力体制で行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	代表者が参加させていただいております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	可能な限りの協力体制で行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	スタッフさんにはセンターさんの存在などを認知してもらっており研修がある事など伝えております。	直接会っての指示はあまりないので機会があれば直接ご指導を承りたいと思っております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	地域の公園やイベント参加はしております。	入社した人でもわかりやすい地域のイベントなどが掲示するようにしたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	伝えあう時間、機会はしっかりと設けております。	発表する人が固定になりがちなので幅広い意見が聞けるよう改善したい。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	親御様の質問には可能な限り、時間をかけて取り組むようにしております。	ご家族様参加型の研修の機会を設けることはしていないので今後できるかどうかを検討したい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧に説明をさせていただいております。開始から初めてのモニタリング時でも説明させていただいております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	ミーティングや会議、でスタッフ間の共有とは別に計画作成時にご利用者様自身の意見も取り入れるようにしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	出来ていると自負しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	親御様の質問には可能な限り、時間をかけて取り組むようにしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	基本的に見学や兄弟の活動のご参加は親御さんが同伴ならOKにしておりますのでそういった場面では交流があります。	保護者会に関しては1週間とおしてご多忙な方が多いので企画しても参加が望めない事情がありますが、模索していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	その日のうちに解決できることはその日のうちに解決するように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	毎月更新中です。	メインは対面時での交流ですがHPなども見てもらえるよう認知できればと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	契約時に写真の撮影の許可などの確認をしております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	基本的なツールから表情の確認、障がい特性も踏まえた上で取り行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	基本的に見学いつもでOKですので他機関の方などの訪問はよくあります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に研修の実施、訓練を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に本社研修を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	アセスメントやリスト化された資料を掲示	掲示されていることを新しく入られた方は認知できないので改善予定です。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アセスメントやリスト化された資料を掲示	掲示されていることを新しく入られた方は認知できないので改善予定です。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	手定期的な安全計画書の更新、実施訓練を行っております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時の説明の他緊急時の各ご家庭での対応方法の確認をしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎週1回ヒヤリハット会議の実施を行い再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修の実施、スタッフミーティングにて確認をしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	現状該当者はいませんが研修や事例の紹介を伝えております。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメイト虫池		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い層の障がい児童の支援 ：当事業所では様々な障がい児童さんが集団での生活をしています。障がいの度合いによって利用をお断りすることなく受け入れをすることにしていて、各ご利用者様にも様々な特性の子がいることも知ってもらいたいと思っております。共生できる手段をスタッフも学び児童さんにも感じ取ってもらえればと思います。	総合的な支援ができることをしておりまして個別活動(学習・巧緻性の向上・生活課題)と集団活動(グループで活動を通して動く練習)をしております。 余暇時間の過ごし方も児童さんたちにアンケートを取り、デイ内にあるものがあるならお買い物練習を兼ねて買いに行き、お出かけをするなら児童さんと計画を立てて遊びに行くようにしています。	行っている取り組みは良いと思っていますのでこれらの幅を拡げていくように取り組んでいければと思っています。
2	利用日の多さ ：昨今の家庭環境に合わせられるように営業日を多くとっています。又、活動時間も多めにとっていますので共働きの世帯の方でも利用しやすいかと思っております。親御様にも生活にゆとりをもたすことで家庭が円滑になると思っております。	急な時間変更にも対応できるようにしております。その際に児童さんに予定の変更を先に伝えております。 ご家族様の急なトラブルなどで時間変更が起こる際もそれ一つの経験としてとらえていますので児童さんがパニックになっても「そーいうこともある。」という気持ちで見せていただいております。	現行の制度ではこれが限界かなと捉えています。今後もし親御様のニーズやご意見があれば営業時間の変更なども検討したいと思っております。
3	同グループ施設との連携 ：近くに同グループのショートステイがありますので連携して動くことが出来ます。日中はデイを利用して帰りはショートステイのお迎えが来てそこからショートステイで宿泊練習をすることなどもできます。	同グループ店舗さんとのやり取りや連絡などで利用日などの共有お互いに気になることがありましたらすぐ連絡にてやり取りできるようにしております。	遠いのですが同グループの放課後等デイもありますので連携を図って活動の共有や交流などもできれば良いかなと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援の児童さんが少ない	現在利用されている児童さんが少ない為、同じ世代間で遊びや活動の共有などが難しく感じております。	可能ならば未就学児童も増やしたいのですが定員の問題もありますので児童発達支援のみの施設を進言してみたいと思います。
2	新規で児童さんが入りづらい	大変ありがたいことに新規での問い合わせや利用希望を頂くのですが現状空きがなく、新規での利用者が入れなくてメンバーの固定化になります。なので、現在同世代がいなくて来て欲しい！という方のご希望には答えづらいです・・・	現状の定員枠ではこれ以上は難しいので新しい施設の進言や他事業所さんとの連携を図り、開いている施設さんの促してみるなどしたいです。
3	施設の手狭さ	運動など室内で行う際は机をどけても難しいので集団で何か運動をするときや大きい子が走るにはやや難があります。仕方がないのですが単純に広さがありません。	改善点としては運動をしたい子は室内運動は避けて公園にて運動をさせることにしていくのですが外に出るリスクもありますので毎回という訳にはいかないことと天候にも左右されてしまうことですね・・・場所を取らない室内運動の構築などに努めたいです。

事業所名

リールスメイト蛭池

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。											
支援方針		多様な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える子どもの困り事や生き辛さを改善し、子ども達が自分らしく生き抜く力を育み支える。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 (11)	時	0	分から	19 (17)	時	0	分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 ご利用児童の特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、児童本人の生活リズムの形成・安定を図る。											
	運動・感覚	ストレッチ・体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、児童が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (児童ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いすを活用することで、姿勢の保持や移手段の確保を図る。											
	認知・行動	支援スタッフが児童ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえて児童が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、児童が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さの変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、児童が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、過去の情報と照合しつつ環境の状況や変化を把握・理解できるよう支援。											
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。											
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動等）の提供により、他の児童と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。											
家族支援		ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施。						移行支援		学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施。			
地域支援・地域連携		ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		新入生歓迎会（4）、夏祭り・水遊び（8月）、クリスマス会（12月）、お別れ会・卒業イベント（3月）、外出活動（毎月）、お店屋さんごっこ（不定期）											

事業所名

リールスメイト蛭池

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。											
支援方針		成長著しい乳幼児期のお子様ひとりひとりの発達の充実が図られるよう、保護者や地域の支援機関との連携を重視しながら、個々のニーズに合わせ工夫を凝らした多様な活動・体験機会を提供することを通じ、就学に備えられるよう支援する。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 (11)	時	0	分から	19 (17)	時	0	分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 お子様ひとりひとりの特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、お子様本人の生活リズムの形成・安定を図る。											
	運動・感覚	ストレッチ・体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、お子様が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (お子様ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いすを活用することで、姿勢の保持や移動手段の確保を図る。											
	認知・行動	支援スタッフがお子様ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえてお子様が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、お子様が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、お子様が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、環境の状況や変化を徐々に把握・理解できるよう支援。											
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを徐々に伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、お子様ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどをを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。											
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動等）の提供により、他のお子様と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 お子様ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。											
家族支援		お子様の発達状況を相互に理解し合えるよう、こまめな気づきの共有と情報交換を実施。お子様を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。						移行支援		保育所等併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路(就学)先を見据えた保護者等との相談援助を実施。			
地域支援・地域連携		お子様がスムーズな生活を送れるよう、保育所・幼稚園等の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		新入生歓迎会（4）、夏祭り・水遊び（8月）、クリスマス会（12月）、お別れ会・卒業イベント（3月）、外出活動（毎月）、お店屋さんごっこ（不定期）											